

令和7年度世田谷区立富士中学校 第1学年 数学科学習指導計画

月	単元・項目(時間)	学習内容	評価のポイント
1学 期	4月 1章正の数・負の数(25) 1節正の数・負の数(5) 2節正の数・負の数の計算(18)	1.0より小さい数 2.正の数と負の数で量を表す 3.絶対値と数の大小 1.加法・減法 2.乗法・除法 3.いろいろな計算 4.数の世界のひろがり	○正の数・負の数の必要性と意味について理解している。(知・技) ○正の数・負の数を用いて、反対の性質をもつ量や、ある基準を決めたときの量を表すときの方法を考察し表現することができる。(思・判・表) ○数の大小関係を、不等号を用いて表すことができる。(知・技) ○正の数・負の数の加法・減法の意味を理解し、計算できる。(知・技) ○加法と減法を統一的にみることで、加法と減法の混じった式を、正の項や負の項の和として捉え表現することができる。(思・判・表) ○正負の数の加法・減法について理解し、計算することができる。(知・技) ○加法と減法の混じった式の計算をすることができる。(知・技) ○指数の意味を理解し、四則を含む式の計算をすることができる。(知・技) ○数の集合の意味や四則計算の可能性について理解している。(知・技) ○様々な事象における変化や状況を正の数・負の数を活用して考察し表現することができる(思・判・表) ○仮平均を定め、平均を求めるなど、正の数・負の数を用いることで、具体的な事象を表したり処理したりすることができる。(知・技)
	5月 3節正の数・負の数の利用(1) 章末問題(1)	1.正の数・負の数の利用	
	6月 2章文字式の式(16) 1節文字を使った式(7)	1.数量を文字で表すこと 2.文字式の表し方 3.式の値	○数量を文字式で表すことができる。(知・技) ○文字式から数量を読み取ることができる。(知・技) ○文字式に正の数や負の数を代入して式の値を求めることができる。(知・技)
	7月 2節文字式の計算(7)	1.文字式の加法・減法 2.文字式と数の乗法・除法 3.関係を表す式	○項や係数の意味を理解している。(知・技) ○簡単な1次式の加法と減法の計算をすることができる。(知・技) ○すでに学習した乗法の分配法則などを関連付けて1次式と数の乗法・除法の計算方法を考察し表現することができる。(思・判・表) ○数量の関係や法則などを等式や不等式で表し、等式や不等式の意味を読み取ることができる。(知・技)
	3節文字式の利用(1) 章末問題(1)	1.文字式の利用	○文字を用いて、数量を表したり、問題を処理したりすることができる。(知・技)
	9月 3章方程式(15) 1節方程式(8)	1.方程式とその解 2.方程式の解き方 3.比と比例式	○等式の性質をもとにして、方程式を解く方法を考察し表現することができる。(思・判・表) ○移項の意味を理解し、方程式を解くことができる。(知・技) ○比の値・比例式の意味を理解し、比例式を解くことができる。(知・技)
	10月 2節方程式の利用(6)	1.方程式の利用 2.比例式の利用	○事象の中の数量やその関係に着目して方程式や比例式をつくり、それを解くことができる。(知・技) ○求めた解や解決の方法が適切であるかどうかを考察し表現することができる。(思・判・表)
	章末問題(1)		
	11月 4章変化と対応(17) 1節関数(3)	1.関数	○具体的な事象の中にある2つの数量の関係を捉え、表現することができる(思・判・表)
	12月 2節比例(6)	1.比例の式 2.座標 3.比例のグラフ	○比例の関係を表や式に表すことができる。(知・技) ○座標をもとにして平面上に点をとったり、平面上の点を座標を用いて表したりすることができる。(知・技) ○比例をグラフで表すことができる。(知・技)
2学 期	3節反比例(5)	1.反比例の式 2.反比例のグラフ	○反比例の関係を表や式に表すことができる。(知・技) ○反比例をグラフで表すことができる。(知・技)
	11月 4節比例・反比例の関係(1) 章末問題(1)	1.比例・反比例の利用	○比例、反比例の関係を利用して身のまわりの問題を解くことができる。(思・判・表)
	5章平面図形(18) 1節直線と図形(3)	1.直線と図形	○平面における直線や角の関係を見いだし、表現することができる。(思・判・表) ○適切な記号を用いて、平面の図形を表すことができる。(知・技)
	12月 2節移動と作図(7)	1.図形の移動 2.基本の作図	○図形を平行移動・回転移動・対称移動することができる。(知・技) ○作図の意味を理解している。(知・技) ○定規やコンパスを作図の道具として正しく使い、線分の垂直二等分線・角の二等分線・垂線を作図することができる(知・技)
	3節移動と作図の利用(2)	1.図形の移動と基本の作図の利用	○図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用できる。(思・判・表)
	4節円とおうぎ形(5) 章末問題(1)	1.円とおうぎ形の性質 2.円とおうぎ形の計量	○おうぎ形に関する用語の意味を理解している。(知・技) ○おうぎ形の弧の長さと面積を求めることができる。(知・技)
3学 期	1月 6章空間図形(19) 1節立体と空間図形(11)	1.いろいろな立体 2.空間内の平面と直線 3.立体の構成	○形や構成する面に着目し、立体の特徴を考察し表現できる。(思・判・表) ○空間における直線や平面の位置関係を理解している。(知・技) ○平面図形や線分の運動によって、どのような立体が構成されるのか理解している。(知・技)
	2月 2節立体の体積と表面積(6)	1.立体の体積 2.立体の表面積	○柱体・錐体・球の体積を求めることができる。(知・技) ○柱体・錐体・球の表面積を求めることができる。(知・技)
	3月 3節空間図形の利用(1) 章末問題(1)	1.空間図形の利用	○具体的な場面で、展開図や投影図を活用することができる。(思・判・表)
	2月 7章データの活用(12) 1章ヒストグラムと相対度数(8)	1.データを活用した問題解決 2.整理されたデータから読み取り	○目的に応じてデータを収集する方法や、それらを分類・整理したり分析したりする方法について考察し表現することができる。(思・判・表) ○データをヒストグラムや表・相対度数や累積相対度数を用いて整理することができる。(知・技) ○整理されたデータを折れ線グラフや棒グラフに変換することができる。(思・判・表)
	3月 2節データにもとづく確率(3) 章末問題(1)	1.相対度数と確率	○多数回の試行によって得られる確率の必要性を理解している。(知・技)
	まとめ	○1年間のまとめ	

令和7年度世田谷区立富士中学校 第2学年 数学科学習指導計画

月	単元・項目(時間)	学習内容	評価のポイント
4月	1. 式の計算 ①多項式の計算 (8)	○文字のしくみ ○多項式の加法・減法 ○單項式の乗法・除法 ○式の値	○文字の式について、単項式・多項式、式の次数の意味を理解する。(知・技) ○同類項の意味及び同類項は1つにまとめられることを理解する。(知・技) ○多項式どうしの加法・減法の計算をすることができる。(知・技) ○单項式や多項式と数の乗法・除法の計算をすることができる。(知・技) ○分数係数を含む式など、やや複雑な式を計算することができる。(知・技) ○式を簡単な形に直してから、式の値を求めることができる。(思・判・表) ○効率的な式の値の求め方を考えることができる。(思・判・表)
5月	②文字式の利用 (7)	○等式の変形 ○文字式による説明	○2つ以上の文字を含んだ等式た面積の公式を、ある文字について解くことができる。(知・技) ○文字式で表現したり、その意味を読み取ったりして、命題が成り立つことを説明することができる。(思・判・表)
	2. 連立方程式 ①連立方程式とその解き方	○連立方程式とその解 ○加減法による解き方	○連立方程式とその解の意味が理解できたか。(知・技) ○連立方程式の解法を理解し、連立方程式を解くことができたか。(知・技)
6月		○代入法による解き方 ○いろいろな連立方程式 (7)	○いろいろな連立方程式を解くことができたか。(知・技)
	②連立方程式の利用 (5)	○連立方程式の利用	○連立方程式を利用して応用問題を解くことができたか。(思・判・表)
7月	3. 1次関数 ①1次関数 ②1次関数の性質と調べ方 (10)	○1次関数の意味 ○1次関数のグラフ ○1次関数の式を求める	○1次関数の意味が理解できたか。(知・技) ○1次関数の変化の特徴を明らかにしたり、グラフを用いたりすることができたか。(知・技) ○1次関数の式を求めることができたか。(知・技)
9月	③2元1次方程式と1次関数 (9)	○2元1次方程式のグラフ ○1次関数の利用	○連立方程式の解とグラフの関係が理解できたか。(思・判・表) ○1次関数を利用して応用問題を解くことができたか。(思・判・表)
10月	4. 図形の調べ方 ①説明のしくみ ②平行線と角 (8)	○多角形の角の和の説明 ○平行線と角 ○三角形の角 ○多角形の内角と外角	○多角形の内角、外角の意味を理解できたか。(知・技) ○平行線と角について理解できたか。(知・技) ○三角形の角、多角形の角について理解できたか。(知・技)
11月	②合同な図形 (7)	○合同な図形の性質 ○三角形の合同条件 ○証明の意味 ○証明のしくみ ○証明の進め方	○合同な図形の性質を理解できたか。(知・技) ○三角形の合同条件について理解できたか。(知・技) ○証明することの意義、証明のしくみについて理解できたか。(知・技) ○三角形の合同条件をもとにし、証明の進め方や図形の性質の調べかたを理解できたか。(思・判・表)
12月	5. 図形の性質と証明 ①三角形 (8)	○二等辺三角形の性質 ○直角三角形の合同	○三角形の合同条件を使って、二等辺三角形の性質を証明し図形の性質の調べ方を理解することができたか。(思・判・表) ○直角三角形の合同条件を導き、その使い方が理解できたか。(思・判・表)
1月	②平行四辺形 (13)	○平行四辺形の性質 ○特別な平行四辺形 ○平行線と面積	○平行四辺形や他の四角形の性質を理解できたか。(思・判・表) ○平行四辺形になるための条件を、記号を用いて表したり、そも意味を読み取ったりすることができる。(知・技) ○平行線による等積変形などについて理解できたか。(知・技)
3学期	6. 場合の数と確率 ①確率	○同様に確からしいこと	○確率の意味について理解できたか。(知・技) ○同様に確からしいという意味を理解し、場合の数から確率を求めることができたか。(知・技)
	②確率の利用 (9)	○いろいろな確率 ○確率による説明	○確率の値のもっている性質について理解し、いろいろな場面で確率を求めることができたか。(知・技) ○身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。(思・判・表)
	7. 箱ひげ図とデータの活用 (5)	○四分位数と箱ひげ図	○箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができたか。(知・技)
	まとめ (10)	○一年間のまとめ	

令和7年度 第3学年 数学科学習指導計画

月	単元・項目(時間)	学習内容	評価のポイント
1学期	4月 ①式の展開と因数分解(13) ②式の計算の利用(5)	1 式の乗法・除法	・単項式と多項式の乗法・除法を理解する。(知・技)
		2 乗法公式	・分配法則を使って、多項式と多項式の乗法の計算をする。(知・技)
		3 因数分解	・乗法公式を理解し、それらを用いて式を展開する。(知・技)
		1 式の計算の利用	・乗法公式を使って、いろいろな計算をする。(知・技) ・多項式の因数及び因数分解の意味を理解する。(知・技) ・乗法公式を逆に使って、多項式を因数分解する。(知・技) ・整数や図形の性質を調べ、式の計算を活用して、それらを証明する。(思・判・表)
	5月 ①平方根(6) ②根号をふくむ式の計算(7) ③平方根の利用	1 平方根	・平方根の意味や根号を使った表し方を理解する。(知・技)
		2 平方根の値	・平方根の大小を比べ、不等号を使って表す。(知・技)
		3 有理数と無理数	・有理数と無理数の意味及び数の範囲の広がりについて理解する。(知・技)
		4 真の値と近似値	
		1 根号をふくむ式の乗法・除法	・根号を含む数の乗法や除法の計算をする。(知・技)
		2 根号をふくむ式の計算	・根号を含む数の加法や減法の計算をする。(知・技) ・平方根を活用して、B5判の紙の縦横比などを調べる。(思・判・表)
		1 平方根の利用	
2学期	3章 2次方程式 ①2次方程式(8) ②2次方程式の利用(4)	1 2次方程式とその解き方	・2次方程式及びその解の意味を理解する。(知・技)
		2 2次方程式の解の公式	・解の公式を用いて2次方程式を解く。(知・技)
		3 2次方程式と因数分解	・平方根の考え方を用いて、 $(x+p)^2=q$ の形の2次方程式を解く。(知・技) ・因数分解を用いた2次方程式の解き方を理解し、その方法で2次方程式を解く。(知・技)
		1 2次方程式の利用	・2次方程式を活用して、数や図形などに関する問題を解決する。(思・判・表)
	7月 ①関数 $y=ax^2$ ②関数 $y=ax^2$ の値の変化 ③いろいろな事象と関数の利用	1 関数 $y=ax^2$	・2乗に比例する関数 $y=ax^2$ について理解する。(知・技)
		2 関数 $y=ax^2$ のグラフ	・関数 $y=ax^2$ のグラフをかき、その特徴を調べる。(知・技)
		1 関数 $y=ax^2$ の値の増減と変域	・関数 $y=ax^2$ について、グラフをもとにして、 x の値が変化するときの y の値の増減のようすを理解する。(知・技)
		2 関数 $y=ax^2$ の利用	・関数 $y=ax^2$ の値の変化について調べる。(知・技) ・具体的な事象の中から、関数 $y=ax^2$ を見いだし、問題の解決に活用する。(思・判・表)
	9月 ①図形と相似(8) ②平行線と線分の比(7) ③相似な図形の計量(5) ④相似の利用	1 関数 $y=ax^2$ の利用	・身のまわりから、いろいろな関数関係を見いだし、グラフなどを用いて特徴を調べる。(思・判・表)
		1 相似な図形	・図形の相似の意味を理解する。(知・技)
		2 三角形の相似条件	・三角形の相似条件を用いて、2つの三角形が相似であるかどうかを判断したり図形の性質を証明したりする。(思・判・表)
		3 三角形の相似条件と証明	
	11月 ①円周角と中心角(9) ②円の性質の利用	1 平行線と線分の比	・平行線と線分の比の関係を用いて線分の長さを求めたり、線分を等分したりする。(知・技)
		2 中点連結定理	・線分の比と平行線の関係を理解する。(知・技) ・中点連結定理を用いて、見いだした図形の性質を証明する。(思・判・表)
		1 相似な図形の面積	・図形の相似比と面積比の関係を用いて、図形の面積を求める。(知・技)
		2 相似な立体の表面積と体積	・立体の相似比と表面積比及び体積比の関係を用いて、立体の表面積や体積などを求める。(知・技)
		1 相似の利用	・縮図を用いて木の高さや2地点間の距離などを求める。(知・技)
	12月 ①直角三角形の3辺の関係(5) ②三平方の定理の利用(7)	1 円周角と中心角	・円周角と中心角の関係及び等しい弧と円周角の関係を理解する。(知・技)
		2 円周角の定理の逆	・円周角の定理の逆が成り立つことを理解する。(知・技) ・円周角と中心角の関係を活用して、円外の1点から円に接線を引く作図の方法を調べ、それを説明する。(思・判・表)
		1 円の性質の利用	
	7章 三平方の定理 ①直角三角形の3辺の関係(5) ②三平方の定理の利用(7)	1 三平方の定理	・三平方の定理を用いて、直角三角形の辺の長さを求める。(知・技)
		1 平面における線分の長さや面積	・三平方の定理の逆を用いて、ある三角形が直角三角形であるかどうかを判別する。(知・技) ・三平方の定理を用いて、平面図形のいろいろな計量を行う。(知・技)

3 学 期	1 月	2 空間における線分の長さや面積	・三平方の定理を用いて、空間図形のいろいろな計量を行う。（知・技）
		8章 標本調査 ①標本調査(8)	<p>1 標本調査の方法</p> <p>2 母集団と標本の関係</p> <p>3 データを活用して、問題を解決しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団全体の傾向や性質を調べる方法として、全数調査と標本調査があることを理解する。（知・技） ・標本調査の必要性と意味を理解する。（知・技） ・標本調査における無作為抽出の必要性及び標本の大きさと標本平均の信頼性の関係を理解する。（知・技） ・簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明する。（知・技）
	2 ・ 3 月	まとめ	3年間のまとめ 総合問題演習